

3 おもてなしワークショップの開催

3.1 ワークショップの目的

伊予市の何気ない素敵な風景や人などの情報を発信する、潜在的におもてなしをしたい方をつなげるきっかけづくりとしてワークショップを実施しました。

市内の観光業に携わる方のほか、SNS で積極的に伊予市の情報を発信してくださっている方にダイレクトメッセージで案内し、参加していただきました。

伊予市における価値を改めて見つめ直し、市外の方にどのように伝えるのか、その手法を各分野の最前線で活躍する現役の講師を迎えて学んだほか、本市を訪れた人に伝えたい伊予市の魅力について話し合いました。

3.2 ワークショップのテーマ設定

全体の企画共通テーマ「価値」

第1回「価値を見つける」

第2回「価値を共有する」

第3回「価値を発信する」

3.3 ワークショップの概要

表 3.1 ワークショップの概要

回数	日時	ワークショップの概要
第1回	令和3年1月12日(火)	テーマ:「価値を見つける」 講師:宮本孝一氏(Onice 代表) 検討内容:価値そのものの定義と構造を学び価値を見つける基礎理論を身に付ける。
第2回	令和3年1月14日(木)	テーマ:「価値を共有する」 講師:小林哲朗氏(写真家) 検討内容:フィールドワークで伊予市の魅力を写真で切り撮り、価値として共有する手段の基礎を学ぶ。
第3回	令和3年1月30日(土)	テーマ:「価値を発信する」 講師:吉川公二氏 検討内容:発信におけるリスクと手法を学び、安定した発信の基礎を学ぶ。

3.4 ワークショップの開催結果

新型コロナの再流行により、すべてのプログラムがリモート開催となりましたが、参加者の目的意識の高さと講師の熱意がシンクロし、深みのある学びを得られました。

特に第2回ワークショップは、写真を撮るフィールドワークをリモートで行うという難しい課題でしたが、講師の指導のもと参加者も楽しみながら結果を出す事ができました。

第3回ワークショップは、情報発信の第一線で活躍する講師から、SNS等での発信に関して特に意識すべき点についてアドバイスがあり、参加者それぞれにポイントとなる気づきを残す事ができました。参加した方が中心メンバーとして理論と実践の入口に立ち、今後の拡がりに対して先導的な役割を担えるスキルを身に付ける事ができました。

3.4.1 第1回ワークショップ

1) タイムスケジュール

表 3.2 第1回ワークショップのスケジュール

時間	会議の内容
13:00～14:30	1. あいさつ・参加者自己紹介・講師:宮本氏自己紹介・概説
14:30～15:00	2. 参加者からの質問
15:00	3. クロージング・終了

2) 開催概要

日 時：令和3年1月12日（火）

場 所：伊予市会議室

講 師：宮本 孝一 氏

3) 講義内容概要

○現在は資本主義から共感・発想資本主義の時代

それを踏まえて伊予市の価値を考えてみる

○価値とは何か？→新しい概念

○3つのステップで新しい概念を見つける

STEP1:概念の構造化→STEP2:概念を特定→STEP3 新たな概念の所在を選択

○まとめ(今回のお話で最も大事なところ)

WHAT 価値＝新しい概念

HOW STEP1 概念の構造化

STEP2 概念を特定

STEP3 新たな概念の所在を選択

この3つのポイントを常に頭に置き、繰り返しミーティングを重ねる事で、時代に流されない伊予市の本当の価値を見つけ、共有し、発信しつづけることが可能になる。

(第1回ワークショップの実施状況)



3.4.2 第2回ワークショップ

1) タイムスケジュール

表 3.3 第2回ワークショップのスケジュール

時間	会議の内容
13:00～13:40	1. あいさつ・新規参加者自己紹介・講師:小林氏自己紹介・概説
13:40～14:10	2. フィールドワーク1回目／全員の講評
14:10～15:10	3. 全体講評
15:10～15:30	4. フィールドワーク2回目
15:30～16:20	5. 全体講評・クロージング

2) 開催概要

日 時：令和3年1月14日（木）

場 所：伊予市会議室

講 師：小林 哲朗 氏

3) 講義内容概要

- 第1回目で理解した「価値」について、実際に価値を切り撮ってみる。
- 伊予市役所付近にて参加者がスマートフォンを使い、それぞれが考える伊予市の価値を切り撮るフィールドワークを実施し、小林哲朗氏から講評を受ける。
- 講評を頭に入れ再びフィールドワークに行く。
- 小林哲朗氏から講評を受けるが、価値の見方(視点)を少し理解された事で、各段に発信しやすい楽しい写真になっている。
- 小林哲朗氏から、価値の切り撮り方、視点の持っていく方などの話を聞く。

4) 参加者が撮影した写真(一例)



3.4.3 第3回ワークショップ

1) タイムスケジュール

表 3.4 第3回ワークショップのスケジュール

時間	会議の内容
13:00～13:20	1. あいさつ・新規参加者自己紹介・講師:吉川氏自己紹介
13:20～14:20	2. 解説
14:20～15:30	3. ミニグループワーク/グループ発表/講評
15:30～15:40	4. 質疑応答・クロージング

2) 開催概要

日 時：令和3年1月30日（土）

場 所：伊予市会議室

講 師：吉川 公二 氏

3) 講義内容概要

- 広報PR・魅力向上につながる発信力について事例を紹介しながら学ぶ。
- 発信とはどういったものを整理し学ぶ。
- 発信の際のリスクマネジメントについて学ぶ。

(1) 意見交換

▶班 1

伊予市は暖かい場所で、人が温かい、住みやすい気軽な感じ、自然が豊かで、海、山がある。国道、高速、空港、電車、バス、交通の便が良いということで、南予、中予、全部行きやすい。あと、食べ物がおいしいなどの魅力がある。

課題は知名度が低いこと。「伊予市と言えばこれ」というのがない。検索したときに引っかかってこない。宿泊施設に関してもピンと来ない。人が外から来たときのルールがない。

任意で情報発信するときの責任の所在など、実際にそんなリスクが出てくるのではないか。

これらのリスクをサポートする方法として、発信のルールを作ってみてはどうか。実際に取材したお店の了解を取るとか、発信者側、私たち側のキャラクターを作る。例えばバナーを作ってみるなどの意見があった。

▶班 2

伊予市の魅力は、まち自体が自然に囲まれ人も自然体、オーガニックという言葉が似合う。伊予弁、言葉自体が柔らかい。食材もエネルギーが高い。都会から移住してこられた方にとって時間をかけて輸送してきたものと比べるとすごくエネルギーを感じて、薄味で塩と醤油とお味噌だけでいただけるようなものも多いと思う。

新規事業者の方が最近増えているということは見逃せない。公共交通機関が充実していて、松山からのアクセスがしやすい。四季折々の自然が楽しめ、ホテルも見れる。スーパー、ドラッグストアも多い。また意欲的な人が多く、まちのことを考えて活動している方たちが多い。

▶ファシリテーターコメント

発信されていない物、言葉として、情報として出てきていない物がすごくたくさんある。

こうした「隠れた物、コト」の魅力＝価値を発見して、市外の方に上手に伝えていくことで、伊予市の魅力と認知度が向上するのではないかと思います。

▶講師コメント

一番大切なところは、伊予市にいる人、伊予市に住んでいる人、学んでいる人、働いている人自身が楽しんでいるかどうか、面白がっているかどうか、楽しんで何かをやっているかどうかというのがまず大事です。

(第3回ワークショップの実施状況)**3.5 ワークショップ意見のまとめ及び計画への反映**

各ワークショップの参加者の意見、得られた気づきやキーワード、参加者アンケートへの記載内容等について整理し、計画策定時の参考としました。



花満開のそば畑（中山町野中）